

2019年11月25日(月)

天気 社説 凡語

メニュー

# 京都新聞

定期購読 デジタル版  
ログイン

Facebook twitter 検索

ホーム 京都 滋賀 観光 スポーツ 社会 文化・ライフ 政治 経済 特集 京都新聞から

トップ > 地域のニュース > 老朽化の橋梁、ドローンとロボカメラで点検 大津で実証実験

滋賀

定期購読 ご案内 | 購読者様サポート

## 老朽化の橋梁、ドローンとロボカメラで点検 大津で実証実験

2019年11月23日 6:00



富川橋の損傷箇所などを点検するドローン（大津市大石富川1丁目）

大津市は22日、橋梁（きょうりょう）の老朽化点検について、ドローンなどを使った検証実験を、同市大石富川1丁目の富川橋で行った。ドローンを使えば、職員が目視できない部分を確認できるほか、費用や作業日数を大幅に削減できるという。市は有効性を確かめ、市内約千カ所の橋の点検での活用を目指す。

国土交通省が定める「道路橋定期点検要領」が2月に改定され、橋の点検は、従来の近接目視と同等の診断でも可能となり、

「ドローン点検」が各地で行われている。同市内の橋は5年に一度の定期点検が行われているが、職員が足場の上で目視で行うため、安全性や作業効率にも課題があった。

1938年建造の同橋（延長33・2メートル）は、すでに道路・河川課職員が定期点検を済ませているが、この日は、産業用ドローンを開発した民間企業の社員らが点検作業を検証。ドローンは高さ約3メートルの橋脚に接近して、0・1ミリ以上のひび割れを検知して撮影。10・5メートルに伸び、30倍のズーム機能があるロボットカメラも併用し、橋桁のひび割れなどを次々と記録した。今後、画像を解析し、把握していない損傷がないか、チェックする。

越直美市長は「作業コスト削減と効率性向上を進められるよう、今回の検証データを分析し、来年度以降に活用できるようにしたい」と述べ、岐阜大工学部の羽田野英明研究員（社会基盤工学）が「ロボットを使えば、橋全体の様子を記録できる。経年劣化も検証でき、より適切なインフラの維持管理ができるようになる」と講評した。

### 人気ランキング

京都・滋賀

全国・海外

- 1 にぎわい夢の跡、レジャー  
プール廃墟に バブル期建設 京都
- 2 狭い山の道路にサイクリスト  
続々「いつか大事故  
に」 2台並走、危険な追  
い越し例も 市内
- 3 道路が陸上トラックに「変  
身」 京都、通行巡りトラ  
ブル 京都
- 4 自転車の聖地、琵琶湖1周  
「ピワイチ」、人身事故1  
55件 滋賀
- 5 サンガ13失点歴的大敗  
「現実と受け止められな  
い」 駆け付けたサポータ  
ーぼう然 京都

日本人の忘れ  
【次世代への  
Things to in  
future



京都新聞創刊  
レゼントキャ  
マトの花言葉